



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う環境改善等に関する申し入れ 団体交渉を行う！ その③

退職記念乗車券の有効期間について

●組合 ◆会社

- ◆ 退職後1年間の取り扱いとなるが、緊急事態宣言も発出されたため、利用期間の半年間の延長と1度の期間変更を実施した。延長は退職したことに対する慰労も含めた判断。
- ◆ 今後については、緊急事態宣言で不要不急の移動の抑制など、宣言の内容によって都度判断していく。
- 慰労も含めたせつかくの退職記念乗車券だが、コロナ禍のために利用できなかった組合員がいた場合に、救済する方法は何かないのか。
- ◆ 意見は承るが、制度として整合性含めて取り扱っていく。

カフェテリアポイントの増額について

●組合 ◆会社

- 福利厚生 の位置づけについて。
- ◆ 趣味、家族との旅行、気分転換など、本人が選んで使っていただくもの。
- カフェテリアポイントの増額について。
- ◆ **ポイントを単に増やすということではなく、受益の均衡性を踏まえている。**ニーズはいろいろあるので、選択肢を増やした。
- JR 東日本エリア内において、Buy JR キャンペーン、ジェクサーの利用など、限られた人しか利用できないものもある。
- ◆ それは課題と認識している。 適正な福利厚生制度にしていくために今後も検討をしていく。
- 環境整備を全体的に行って欲しい
- ◆ 限られた財源の中で、ニーズを掴んで環境の整備を行っていきたいが、経営状況もあるので、現段階では現行の制度で妥当だと考えていることを示した。

「15年制限」を当面凍結すること

●組合 ◆会社

- ◆ 2015年に労使議論してきて運用している**住環境制度の基本的な考え方は変わらない。**
- ◆ 7年という猶予期間をとり、将来設計できるとし、退職して住む家がないということのないようにと考えていたが、コロナは想定していなかった。

組合員の声

- **家は一生の買い物で、大きな決断がある。持家取得推進ということで人生設計をしてきたが、「今まで通りの融資ができません。これまでの上限と変わっています。理由は JR 東日本の経営状況です」と言われてしまい、設計を変更しなければならない。**
- **15年の制限が近づいている中、社宅を出る準備をしている最中にコロナ禍となり、配偶者の収入がゼロになってしまい、計画に狂いが出ってしまった。**
- ◆ **現状をよく見るべきだという提起として受け止める。**会社として、考え方は現時点変わらないが、状況は会社としてもじっくり見ていきたい。